

The Yamaguchi Prefectural Museum of Art

山口県立美術館ニュース「天花」

086

contents

常設展
第56回山口県美術展覧会
展覧会予告
年間スケジュール

天花

TENGE



雲谷等爾「雪景山水図」 山口県立美術館蔵

常設展

小林和作室

「雪舟派と雲谷派(1)」

10/8^{tue}～11/17^{sun}

「雪舟派と雲谷派(2)」

11/19^{tue}～²⁰⁰³1/5^{sun}

表紙作品解説

雲谷等爾(1615～1671)「雪景山水図」

極端に濃い墨を使って、激しく筆を紙におしつけるようにして描かれた樹木の表現がショッキングな絵。木の幹や枝の輪郭に沿って少し薄い墨を塗ることによって、塗り残しの部分が白く浮き上がって見えるが、これは実は木に積もった雪の表現である。画面左下の三角形は傘で、これは傘をさした人物が歩いている姿だ。この種の水墨画をあまり見慣れていない人にとっては、ちょっと分かりにくい描き方かもしれない。

このような絵は、室町時代に日本にもたらされて大流行した、玉潤という中国画家の絵のスタイルをもとにしていて、雪舟や雲谷派の画家は、こうした描法の山水図を多く描いた。この絵の構図そのものには、梁楷という中国画家が描いた「雪景山水図」(東京国立博物館蔵)という有名な絵が参照されていて、中国や日本のさまざまな水墨画の歴史の記憶が、この一枚の絵の中にも生きていることが知られる。(荏開津)

郷土工芸室

「萩の茶陶」10/8～²⁰⁰³1/5

萩藩の御用窯を中心として制作されていた萩焼は、明治時代以降、茶の湯との結びつきを深め、「茶陶萩焼」というイメージを築き上げました。今回の展示では、「萩菱垣文筆洗形割高台茶碗」(江戸時代前期)、三輪休雪「萩角水指」、坂倉新兵衛(14代)「萩茶入」などを紹介します。



三輪休雪「萩角水指」1977年 山口県立美術館蔵



香月泰男「神農」1964年 山口県立美術館蔵

香月泰男室

「シベリア・シリーズⅢ」10/8～²⁰⁰³1/5

三隅町出身の香月泰男(1911～74)は、シベリア抑留を経験し、復員後その重い体験を「シベリア・シリーズ」として描きのこしました。当館常設展示では、同シリーズを抑留体験の順を追って紹介しています。今回はシリーズ全57点の中から補囚時代をモチーフにした作品を選んで展示します。

資料展示室

「植田正治」10/8～11/17

「本庄光郎」11/19～²⁰⁰³1/5

マルチ・ストロボによるヌード写真でその名を知られる本庄光郎(1907～1995)は、戦争によって活動を一時中断したものの、その長いキャリアを通じ一貫して前衛的表現を迫及した写真家です。このたびは、当館所蔵のヌード写真20点を展示し、実験的精神にあふれる独自の世界を紹介します。



本庄光郎「パターン・ヒップ」1970年 山口県立美術館蔵

第6回やまぐち県民文化祭

第56回山口県美術展覧会

2002 9/12(木)～9/29(日)

休館日 9月17日(火)・9月24日(火)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般250円(200円) 学生200円(150円)

※()内は20名以上の団体料金

※18歳以下・70歳以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍される方等は無料

主催 山口県・山口県教育委員会

運営委員 荒瀬景敏(美術作家) 井生文隆(山口県立大学生活科学部助教授) 今井徹也(建築家)

(50名順)

岩野雅子(山口県立大学国際文化学部助教授)

木本信昭(元下関市立美術館副館長・前下関市教育委員会教育次長)

原田文明(美術作家) 堀家敬嗣(山口大学教育学部講師) 三輪和彦(美術作家)

森川絃一郎(徳山市美術博物館長) 横山真佐子(児童書専門店「子供の広場」代表取締役)

岡屋武紀(山口県教育委員会文化財保護課長) 横山健二(山口県環境生活部文化振興課長)

公募部門

審査会 9月3日(火)・9月4日(水)

審査員 石川九楊(書家) 榎木野衣(美術評論家) 山下裕二(美術史家)

出品点数 450点

入選点数 84点

大賞 「ゆめ」 廣枯生死・夢(下松市)

優秀賞 「ステージ」戦争は幼児をも傷つけるー生命の水を求めてー」 國吉道雄(宇部市)

「深淵」古賀隆光(宇部市)

「a cappella 15 man」白木靖子(下松市)

「醤油蔵の金魚ちゃん(柳井)」中野速美(下関市)

「オブジェー風景」山根秀信(山口市)

審査員特別賞 「竹筒茶道具一式」小倉清(島根県)

特別展示 「テントーにんにく・オムレツ・らーめん」上坂美礼(山口市) 昨年度大賞受賞作家

シンポジウム

今年度審査員の榎木野衣氏の基調講演とその発言をめぐってのシンポジウムを開催します。

日時 9月15日(日) 14:00～16:00

会場 山口県立美術館講座室

ゲスト 榎木野衣(美術評論家)

パネリスト 木本信昭(県美展運営委員長・元下関市立美術館副館長)

森川絃一郎(県美展運営委員・徳山市美術博物館長)

司会 河野通孝(県美展事務局・県立美術館学芸課主任)

今年の県美展は楽しみがいっぱい!!



よく分かる県美展ツアー

荒瀬景敏

(県美展運営委員・美術作家)

+ゲストのギャラリートーク



※ゲストは全て県美展運営委員です。

今年のギャラリートークは
いろいろゲストが登場します。
どの日に参加しますか?

ゲスト: 木本信昭
(元下関市立美術館副館長)



9月14日(土)
14:00～

ゲスト: 横山真佐子
(児童書専門店「子供の広場」代表取締役)



9月15日(日)
10:30～

ゲスト: 森川絃一郎
(徳山市美術博物館長)



9月21日(土)
14:00～

ゲスト: 原田文明
(美術作家)



9月22日(日)
14:00～

Q. どんなギャラリートークが
いいですか?

A. 運営委員の話を開き
ながら見て回る

B. 自分もどんな感想を
言って参加したい。

ミニ・ギャラリートーク

9月18日(水) 14:00～

9月25日(水) 14:00～

ボランティアが
やります。

※ギャラリートークに参加ご希望の方は、入場券をお買い求めのうえ、
当日開催予定時刻直前に県美展会場入口にお集まり下さい。

ジャン=マルク・ビュスタモント展 プライベート・クロッシング

2002 10/16(水)~11/24(日)

休館日 月曜日(但し、11月4日は開館、翌5日は休館)
 開館時間 9時~17時まで(入館は16時30分)
 観覧料 一般730(620)円 学生510(410)円
 ※()内は20名以上の団体料金
 ※18歳以下・70歳以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍される方等は無料
 ※教育文化週間(11月1日~11月7日)の入館者は無料

主催 山口県立美術館
 特別協力 日本航空
 助成 フランス外務省・フランス芸術文化活動協会



(T.12.01) 2001 タイププリント、アルミニウム、ガラス 240×160×1cm
 協力:ギャラリー・ポプ・ファン・オルソウ(チューリッヒ)
 © Jean-Marc Bustamante

[関連事業]

親子で見る美術館

10月26日(土) 14:00~ 小学校1年~3年生対象
 (先着10組にて締め切り)

11月2日(土) 10:00~ 小学校4年~6年生対象
 (先着10組にて締め切り)

参加希望者は電話で山口県立美術館までお申し込みください。

学芸員による作品解説

10月20日(日)・11月3日(日)・17日(日) 14:00~

ポスト・カードのオン・デマンド印刷

(お気に入りの作品がその場で絵葉書になります)

10月19日(土)・20日(日)

山口県立美術館ロビーにて 有料

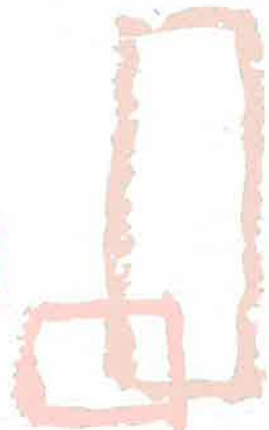
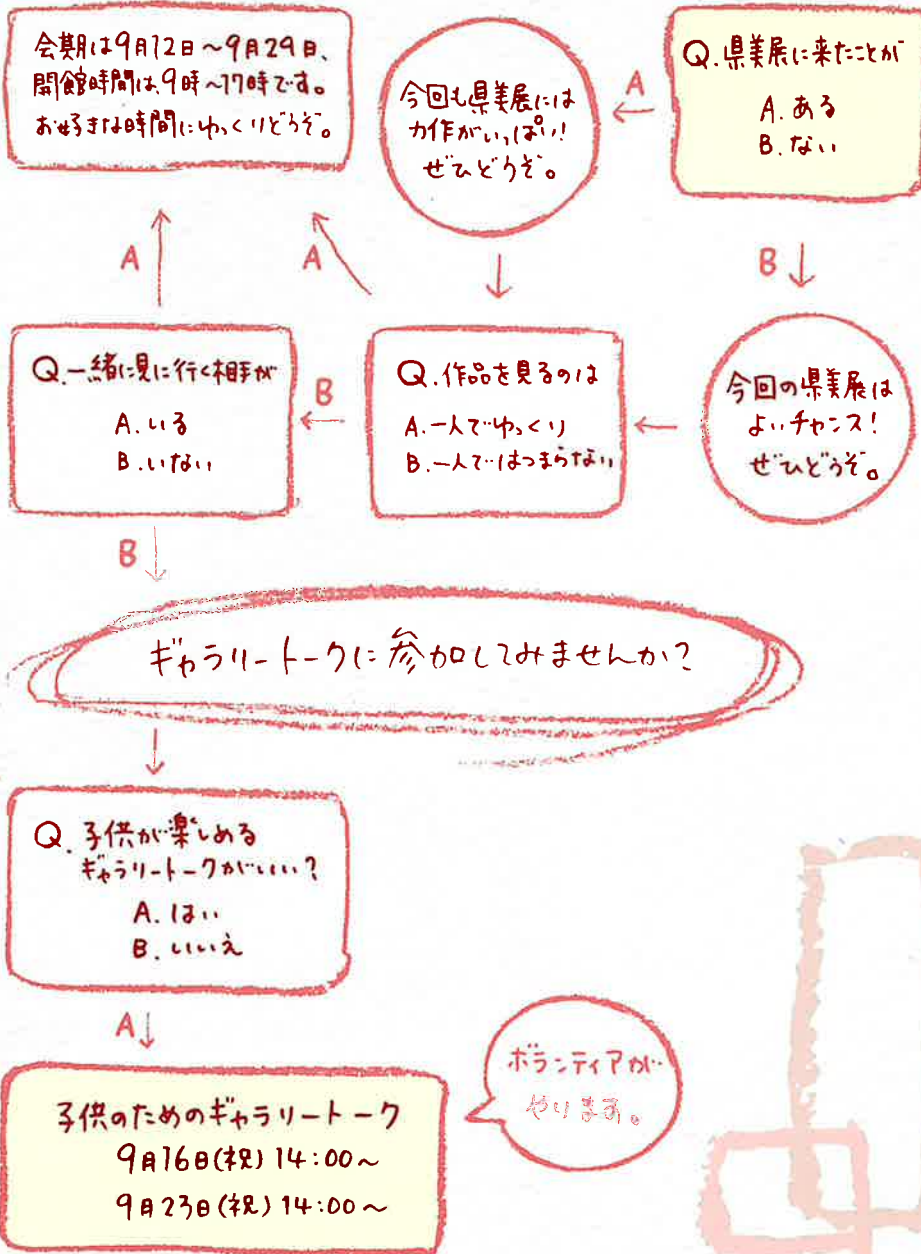
ジャン=マルク・ビュスタモント(1952年、トゥールーズ生まれ)はフランスを代表する美術作家です。写真表現のあらたな地平を切り開いた作家として国際的にも高く評価されていますが、その作品は写真に限られているわけではありません。鋼、ガラス、コンクリート等でつくられた様々な立体作品、あるいは透明のアクリル板に転写された即興的ドローイング等々、素材のみならずその技法も多岐にわたっています。

とはいえ、どの作品からも等しく感じられるのはその独特の謎めいた雰囲気でしょう。人工的できわめてクリアな外観と、そのシャープな美しさにはまったく不釣り合いなありふれたモチーフ。このアンバランスな共存こそが、とらえどころのない不思議な時間の流れを感じさせるのです。

このたびの展覧会は日本では初めてとなる本格的回顧展です。写真による代表作の数々に加えて、立体、オブジェなど約80点を展示し、その全貌を紹介します。

Jean-Marc Bustamante

START!



2002-2003

schedule

山口県立美術館 平成14年度年間スケジュール

特別展

常設展

4	4/20~6/2 モンテディバスキティシエナ銀行、ネーゴ音楽アカデミー財団コレクション シエナ美術展 — 世界遺産都市の宝庫 絵画・彫刻・工芸の精華 —
6	6/7~6/16 第25回伝統工芸新作展
7	6/22~7/28 雪村展 戦国時代のスーパー・エキセントリック 山口県・山梨県友好協会主催 第20回社団法人山口県書道連盟展
8	8/6~8/11 第20回社団法人山口県書道連盟展 8/16~8/25 ふるさとのアーティストたち ~山口県三審文化関係表彰の楽しみと作品~ 9/12~9/29 第6回やまぐち県民文化祭 第56回山口県美術展覧会
10	10/16~11/24 ジャン=マルク・ピュスタモント展
12	12/10~12/15 第55回学校美術展覧会 12/20~2003/2/2 マン・レイ写真展
1	2/6~2/9 山口県立大学卒業制作展 2/13~2/16 山口大学卒業制作展 2/20~2/23 山口芸術短期大学卒業制作展 2/28~3/9 子どもたちの粘土の未来 ~子どもと、粘土と、創り出す喜びと~

4/9	山口の工芸 シベリア・シリーズ I	寄贈作品展	牛陽茂雄 (2) 5/19 5/21 大辻清司
7/7			
7/9		中本達也	福島菊次郎
	現代の萩焼 シベリア・シリーズ II	8/6 華麗なる花鳥画 8/25	8/18 8/20 岩宮武二
10/6			
10/8		雪舟派と雲谷派 (1)	植田正治
	萩の茶陶 シベリア・シリーズ III	11/17 11/19	11/17 11/19
		雪舟派と雲谷派 (2)	本庄光郎
1/5			
1/7		宮崎進展	林忠彦
	前衛陶芸 シベリア・シリーズ IV	2/11	2/9 2/11 金井精一
3/30			

Information

■休館日

毎週月曜 (特別展会期中の月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
年末年始 (12月28日~1月3日)
10月14日、2月11日、3月21日

■開館時間

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

■料金

常設展: 一般190 (160)円 学生120 (100)円
()内は20名以上の団体料金
特別展: 別途に定めた料金

常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、盲・聾・養護学校に在学する方は無料。
教育文化週間11月1日~11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art
〒753-0089
山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788
FAX: 083-925-7790
<http://www.pref.yamaguchi.jp/4yamaart.htm>

